

石川理記之助 （石川理記之助） 歌人、篤農家。弘化二年二月二十五日出羽國秋田郡小泉村生れ、大正四年九月八日歿（八五—一九二五）。舊姓奈良。歌名貞直。明治五年秋田縣へ出仕して農事改良に従事、十五年退職して篤農経営を指導。一十九年より農村計畫の實態調査「道産調」を實施、調査書七百餘部を達した。また自ら尚庵歌會を興すなど作歌に勵み、生涯の歌數二十餘萬首に及んだといふ。

著書に、『經濟會成績』（明治二十八年一月）二十五年隣堂）、『秋田のむかし』（編輯、卷一・明治二十一年十一月）二十五年秋田・自刊「草木谷叢書」（）、『石川翁農道要典』（昭和十四年二月）二十一年石川翁農道要典編纂會・二井報徳會編刊、二井報徳會）、『心の旋木』（吉野裕校註、昭和十八年十一月）十の春陽堂書店「新文庫」（等の他、資料、傳記に、『石川貞直夫人 建神除幕式 献詠集』（大正十年十月）二十五年秋田・尚庵歌會）、『崑山松治著 石川翁青年時代』（昭和六年六月）二十五年秋田・石川會）、『香坂昌康・菅原兵治著 石川翁追憶録』（昭和八年十月）二十五年篤農協會「篤農協會叢書」（）、『石川理記之助翁の道産調』（兒玉庄太郎・伊藤理一郎編、昭和八年十一月八日秋田・石川會）、伊藤永之介著『石川理記之助』（昭和十六年九月）二十五年新潮社「土の偉人叢書」（）、『東北社會事業』の執筆、昭和十六年十一月十五日大



執筆、昭和十六年十一月十五日大



〔正大學社會事業研究會編輯〕、
兒玉正太郎著 『慶應の精神』石川理記
之助翁の生涯 〔昭和十七年五月二十日人文閣〕、
杉田博著 『^上聖者石

川理記之助』〔昭和十八年十一月五日二書堂〕等。